

異物除去法 食べ物などの異物が口に詰まった場合など

食物や小さなおもちゃなどの異物をのどに詰めた場合、話しができなくなり、呼吸が止まる場合があります。このような場合は、すぐに異物を取り除かなければなりません。

●意識がある場合

▶ 傷病者が咳をすることが可能であれば咳を続けさせます。できない場合は下記の方法を試みます。



成人

●背部叩打法



肩甲骨と肩甲骨の間をすばやく手の平の根元で叩き異物を除去する方法

●腹部突き上げ法



みぞおちとへその中間部分を上内側方向に圧迫し異物を除去する方法

ポイント

※腹部突き上げ法の禁忌
次のような人に対しては腹部突き上げ法による異物除去を行わない。
・12ヵ月までの乳児
・意識のない傷病者
・妊娠後期の女性

小児(約1歳以上約16歳未満)

成人と同じ方法で背部叩打か、腹部突き上げ法を行います。

乳児(12ヵ月まで)

背部叩打と胸部突き上げを実施します。

●背部叩打法



●胸部突き上げ法



●反応がない場合

▶ 心肺蘇生を開始します。胸骨圧迫の途中で口の中に異物が見えたならば異物を取り除きます。

止血法

けが(外傷)などで出血が多い場合は命の危険があり、できるだけ早い止血が望めます。

観察のポイント

出血は、どこからどのように、どのくらいか?

●噴き出るような出血か



●にじみ出るような出血か

●わき出るような出血か

直接圧迫止血法

傷口を十分に押さえる大きさの清潔なガーゼやタオルを当て、その上を強く押さえます。傷口を心臓より高くしておきます。



ポイント

感染防止のため直接血液にふれないようにする。

